

平成24年度学校図書館充実事業

研究成果報告書

学校図書館の積極的な活用を目指して



群馬県教育委員会

平成24年度学校図書館充実事業

学習指導要領の改訂では、各教科等を通じて子どもたちの思考力・判断力・表現力等をはぐくむ観点から、言語に対する関心や理解を深め、言語に関する能力の育成を図る上で必要な子どもたちの言語活動の充実を図ることを重視しています。そこで、各教科等において学校図書館を計画的に活用した教育活動を一層推進することが求められています。

本研究報告書は、学校図書館の充実を通して、児童に本から学ぶ力を身に付けさせる研究に取り組んだ板倉町立東小学校の1年間の実践をまとめたものです。各学校の実態に合わせて、図書室の機能向上、学校図書館を活用した授業改善に役立てていただければ幸いです。

I 事業の概要

1 目的

学校図書館職員が教員と協力し、学校図書館を活用した各教科等の授業を推進することを通して、学習・情報センターとしての学校図書館の充実に資する。

2 内容

- (1) 学校図書館職員と教員との連携の進め方
- (2) 授業づくりで活用できる図書館の整備

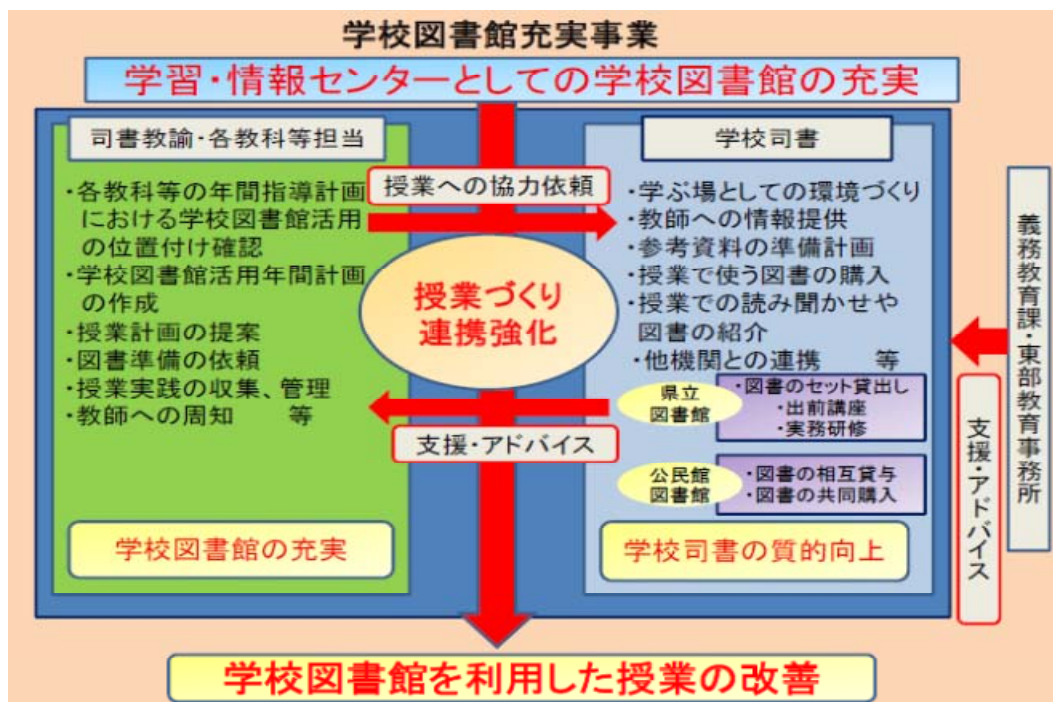
3 実施方法

- (1) 実施校は、板倉町立東小学校とする。
- (2) 義務教育課、東部教育事務所、県立図書館、板倉町教育委員会が連携して支援する。
- (3) 研究成果をまとめ、Webへの掲載を通して、県内に研究成果を広める。

4 計画

月	内 容
平成24年 4月	・実践内容の確認 ※平成24年度図書館教育の方向性検討 ※各教科等年間指導計画による図書館を活用した授業計画等
5～7月	・図書館環境づくり ※県立図書館出前講座を活用した図書配架の改善・工夫 ・授業づくり ※授業で使用する図書の整備（資料提供） ・第1回学校図書館実務者研修会参加（県立図書館）
9～12月	・授業づくり 授業実践
平成25年 1～2月	・実践のまとめ ・第2回学校図書館実務者研修会参加（県立図書館）

5 構想図



II 板倉町立東小学校における取組

1 研究主題

本との出会いを大切にし、本から学ぶ力を伸ばす図書館教育
～学校司書と連携した授業づくりを通して～

2 研究主題設定の理由

本校は児童数271名（10クラス+特別支援学級1クラス）、蔵書数9000冊（本年度夏に除籍作業を行う）の小規模校である。児童は、毎日図書館を授業や休み時間に利用し、多くの図書を借りている。一度に借りられる本の冊数は3冊とされており、長期休業前には5冊借りることができるが、多くの児童が一度の貸出しにつき複数冊の本を借りていく。

平成23年度児童一人あたりの貸出し冊数を調べてみると152冊であり（図1）、これは郡内のどの小学校よりも多い数字となった。年々児童が読む本の冊数は増えている現状を鑑み、本校の児童個人の読書活動は量から質への移行期を迎えているのではないかと考える。冊数は読んでいるが、自分の気に入った本ばかり借りているためジャンルが広が

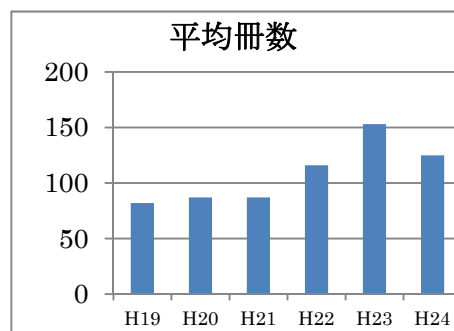


図1 一人当たりの年間平均貸出冊数
(H24年は12月現在のもの)

っていない児童や絵本から物語本への移行がうまく行われず図鑑や迷路などの本ばかり借りる児童や、そのような児童たちが高学年になって物語を選べず読書活動の伸び悩みにぶつかっていたり、物語本を多く読める高学年の児童の中にも「私は推理小説しか読まない」という偏りをみせたりする児童がいる。思考が柔らかい小・中学生のうちに様々なジャンルの本に手を伸ばし、豊かな心や人間形成に必要な知識を読書活動から得る必要がある。そのために、児童と本との出会う場面において工夫をする必要があると考える。研究主題の前半部分である「本との出会いを大切にし」には、このような思いが込められている。

さて、ここで学校図書館の役割について再考したい。学校図書館がもつ役割とは、学校図書館法によれば、

- ① 図書館資料を収集し、児童又は生徒及び教員の利用に供すること。
 - ② 図書館資料の分類配列を適切にし、及びその目録を整備すること。
 - ③ 読書会、研究会、鑑賞会、映写会、資料展示会等を行うこと。
 - ④ 図書館資料の利用その他学校図書館の利用に関し児童又は生徒に対し指導を行うこと。
 - ⑤ 他の学校の学校図書館、図書館、博物館、公民館等と緊密に連絡し及び協力すること。
- (学校図書館法 第4条)

とある。また、新学習指導要領では、

学校図書館を計画的に利用しその機能の活用を図り、児童の主体的、意欲的な学習活動や読書活動を充実すること。(学習指導要領：総則、抜粋)

と、記されており、学校図書館は児童に読ませたい図書や児童が読みたい図書を置いておくだけの場所ではないことがわかる。本校の実態を照らし合わせてみると、不十分な点が改めて浮き彫りとなった。また、新学習指導要領で求められている「計画的に利用」「児童の主体的・意欲的な学習活動」を促す学習情報センターとしての機能が十分になされていないと感じられた。

そこで本年度、本校の図書館教育の重点項目として以下の4つを挙げることにした。

- ①学校図書館の整備
- ②学校図書館の授業における計画的な利用
- ③学校図書館職員と教員との連携のあり方
- ④県立図書館や他の図書館との連携

これら4つの柱が目指す先を「(児童が)本から学ぶ力を伸ばす図書館教育」とし、研究主題の後半部分に示した。

また、これらの重点項目をすすめていくにあたり、専門的な立場である学校図書館職員(学校司書・図書事務)との連携は必要不可欠であり、学校図書館職員の存在は児童の主体的・意欲的な学習活動を補う上でもなくてはならないものである。今後、どのような連携を図ること



写真1 図書館改装後様子

ができるかを考え、取り組んでいく中で、本年度の研修主題に迫っていきたいと考える。

3 本研究において本校が目指す児童像

先にも述べたとおり、本校の児童の読書活動は「量より質」への過渡期へ移行してきたと考えられる。本との出会い方を工夫することにより、偏りなく幅広い様々な種類の本を手にする児童が今より多くなっていくことが、本年度の目指す児童像の一つである。

2つ目の目指す児童像は、学習活動において図書館を計画的に活用する中で、本やインターネットから正しく新しい、知識や情報を得ることができる児童である。本校の学校図書館は、情報センターとしての機能はまだ十分ではない。本年度は、環境や年間利用計画を整備し、学校図書館職員や他の図書館との連携を図ることにより、少しでも読書をする場所の図書館から情報得ることもできる図書館へと機能を充実させることが目指す児童像へと迫る手だての一つと考える。

5 研究内容

(1) 授業で活用できる図書館の整備方法

- ① 県立図書館による「出前講座」の活用
- ② 県立図書館セット貸出しの活用
- ③ 「ぐんまの子どもに読ませたい本200選」の借用と環境整備

(2) 学校図書館職員と教員の連携方法

- ④ 年間利用計画の作成と整備
- ⑤ 各教科等で使用した（使用できる）図書リストの作成

6 研究の実際

(1) 授業で活用できる学校図書館の整備方法

① 県立図書館出前講座の活用による学校図書館の整備

ア 県立図書館出前講座とは

県立図書館出前講座とは、主に図書館未設置地域の学校図書館における子どもの読書活動推進を支援するために実施するものである。

1. 学校図書館実務の基礎・基本
 2. 図書館レイアウトの工夫と実践
 3. 調べ学習を効果的にサポートする工夫
 4. 本と出会い、触れ合える活動の工夫と実演
- の4つの項目があり、それぞれの研修を行うにあたって講師を派遣するという取り組みである。

イ 本校の図書館環境

そこで今年度、本校の図書館の環境を

鑑み「2. 図書館のレイアウトの工夫と実践」の講座を申込み、本図書館のレイ



写真2 図書館改装前

アウトと配架の工夫を行い環境の一新を図ることとした。

本校の図書館は1階の西側に設置され、南北に窓がある。しかし北側には調理室、南側は耐震工事の柱が入り以前よりも光が入りにくくなってしまった。書架には本がぎっしりと入り、蔵書数は多いが表紙を見せるといった展示が展開できない状態であった。また、これらの本の中には年間一度も借りられていない書籍も多数あり、回転率の高い書籍には偏りがみられた（写真2）。

ウ 学校図書館整備の実際

講師の適切なアドバイスのもと、3つに過程で本校の図書館のレイアウト（配架も含む）を変える作業を行った。講師には邑楽町の司書をされている廣田貴子さん、藤岡町の司書をされている武部裕子さんの二人を招いた。

第一の作業として、除籍をするために古い書籍の選別を行った。6月下旬より少しずつ書架から古い書籍を抜き出す作業（除架）を始め、夏休みに入ってから集中的に作業を行った。とりあえず本棚から以下の基準で古い書籍を除架し、a. 書庫へ一時保存するものとb. すぐに除籍作業に入れるものに分けた。特に社会科に関わる地図や統計資料などが含まれるものは、平成の大合併により各地の市町村名が変更されており、新しいものへと変えざるを得なかった。また、統計資料等も2000年よりも前のものは一度書庫へと避難させ、新刊を購入するまでの間のつなぎとして選別したものを一部書架へ戻すこととした。



写真3 改装前入り口

第二の作業は図書館環境の整備である。除架後、残りすべての本を取り出し、書架の清掃と色替えを行った。木目の本棚に白いペンキを塗り、図書館全体を明るい雰囲気へと変え



写真4 改装後入り口

る。その他にもコンクリート壁面へ白ペンキの塗布、壁への布の貼付、椅子の座面の布替え、テーブルクロスを設置などを行い環境をがらりと変えた（写真5）。さらに、子どもたちがくつろげるようにするため、校庭に面した陽の当たる一角に絨毯を敷き、寝転んでも本が読めるスペース（写真6）を確保した。



写真5 改装後

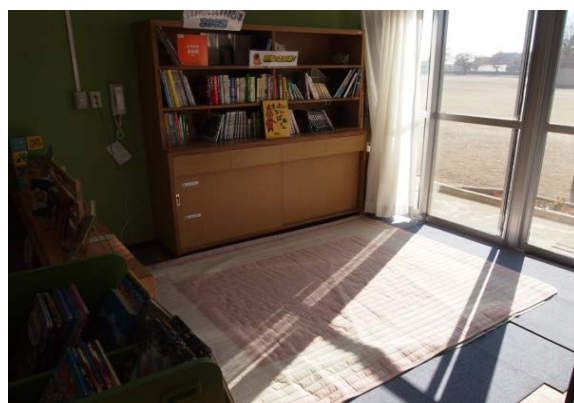


写真6 改装後

第三は、配架の工夫である。この作業を「出前講座」とし、町内の図書館教育担当教諭並びに図書事務、本校職員を対象に本図書館に合った配架や、分類配置の工夫について講義していただいたのち、除架してあった書籍を書架へ戻す作業を行った。赤木かん子氏の分類表をもとに、講師の先生方が分類表示を書架にセットし、講座参加者全員で本を分類しながら書架へ戻していった。その際、1冊1冊に分類シール（イラスト）を貼り、児童にもその本がどのような分類になり、どこに置かれるものなのかのわかるようにした。

これらの作業を行うことで、本校の図書館に不足している分類、買い替えなければならない書籍などが一目でわかるようになり、職員の方からも「この種類が足りないね」「これは随分たくさんあるね」といった声が挙がった。総蔵書数は規定に達していても、その内容には偏りがみられることがわかった。

② 県立図書館セット貸出しの利用

県立図書館には学校図書館支援事業に基づいて、児童・生徒のさらなる読書活動推進を目的とし、各学校における教科学習や総合学習の時間、読書の時間などの教育活動を支援するため、あらかじめ設定された図書セットを貸し出すサービスがある。

今年度、年間利用計画と照らし合わせて申し込みをしたセットは次の4種類である。

- a.データ・図鑑（5年：国語）
- b.福祉A、C（3年：総合）
- c.戦争と平和A（6年：国語）
- d.修学旅行（小学校1・2年間のもの）
- e.学校司書支援A、B

③ 「ぐんまの子どもに読ませたい本200選」の借用

ア 「ぐんまの子どもに読ませたい本200選」とは

平成12年に制定された「ぐんまの子どもに読ませたい本200選」は、平成21年に改訂版が出された。本校では予算が少ない中で新しく加わった95冊を購入するのは難しいという点もあり、本年度は200冊1セットを義務教育課から借用することとした。

「200選」には様々な分野の本が選ばれているが、中には文庫やハードカバーで何百ページもある長編小説などもあり、児童への工夫した紹介方法が必要とされた。

イ 「ぐんま子どもに読ませたい本200選」セットの活用の実際

まず、「200選コーナー」を入り口脇に設置しなるべく表紙が見えるように配置した（写真7.8）。



写真7 改装後 200選配置



写真8 改装前 200選配置

次に「よみんご」と呼ばれるビンゴカードの中に200選マーク（ぐんまちゃんマーク）（図2）を入れ、ゲーム感覚で「200選」の中の本を手にとれるように仕掛けた。（※後述）さらに、「先生のおすすめコーナー」に「200選」の中から選んでもらった本を入れ、これもまた「よみんご」の中の選択肢として先生のおすすめマークを入れた。これにより「200選」の中の本を手にして読む児童が増えた。

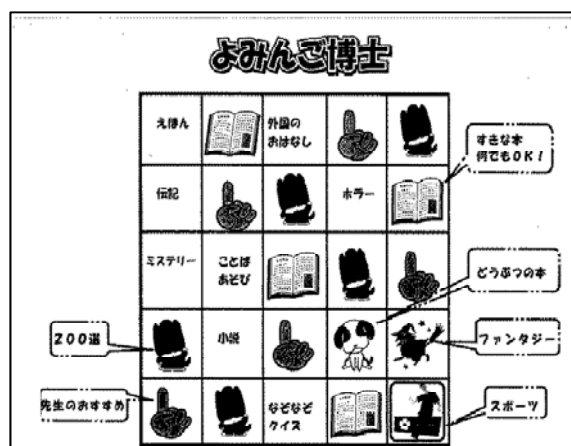


図2 よみんごカード

(2) 学校図書館職員と教員の連携方法

① 年間利用計画の作成

学校図書館が情報センターとしての機能を果たすためには、年間利用計画の作成が不可欠である。各教科の年間指導計画を踏まえ、どの時期にどのような資料が必要であるか、図書館司書と教員との間で事前に話し合わなければならない。無駄なく連携を行うために、年間利用計画があれば情報センターとして1年間を見通した授業支援が可能になる。

年間利用計画（添付資料1）を作成するには、

ア 前年度担当した学年や教科などの活動の中で、図書館を活用できる、もしくは図書館を実際に活用した単元をリストアップする。

イ 上記以外の単元を、各教科等の年間指導計画から拾い出す。

といった手順で行うと良い。

② 各教科等で使用した（使用できる）図書リストの作成

前述した「年間利用計画」に基づき、授業を支援するべく県立図書館や近隣の公立図書館などから関連図書を借り、資料の充実を図るが、次年度に向け必要とされる資料・役に立つ資料を準備するために、本年度有益だった書籍の記録を残しておくことが重要となる。年間利用計画と照らし合わせながら使用できるよう、まとめていく作業が必要である。（添付資料2）

③ 連携の仕方

ア 低学年：「分類」に関するワークショップ

イ 高学年：県立図書館支援セットと地域の公立図書館の資料を活用した国語の授業（実践例として示す）

ウ 高学年：戦争に関する書籍コーナーの設置（写真9）



写真9 6年教室前戦争図書配置

各教科等の授業を支援する場として学校図書館を生かすためには、授業担当教諭・司書教諭・学校図書館職員の連携はなくてはならないものである。本来であれば月に一度、各ブロックごとに年間利用計画をもとに授業で図書館を活用するための打ち合わせ時間をもつべきであったが、なかなかそういった時間をとることができなかった。したがって本年度は、年間利用計画を作成する段階で司書教諭が、各担任や教科担任に、「どの授業で図書館を利用する

予定であるか」「どのような資料がどのくらい必要であるか」といったことについて昨年の聞き取り調査を行い、年間利用計画に反映させた。学校図書館職員は司書教諭経由、もしくは担任から直接必要な資料について確認を行い、その後各機関への申請や他の図書館での資料集めなどの準備作業を行ってもらった。

(2) 実践例（5年生：国語）

① 単元 単元1「説明の仕方について考えよう」 教材 天気を予想する

単元2「理由づけを明確にして説明しよう」

教材 グラフや表を引用して書こう

② 指導目標

【読むこと】前半部分と後半部分の書かれ方の違いに着目し、筆者が伝えたいことを考えながら読むことができる。

【書くこと】目的や意図に応じて収集した事柄を、全体を見通して整理するとともに、引用したり図表やグラフを用いたりするなど、書き方を工夫して、自分の考えが伝わるように書くことができる。


③ 指導計画（10時間：本時8時間目）

時	内 容	評 価
教材：天気を予想する		
1	・本単元めあて『「天気を予想する」を読んで簡単な感想をもち、図・表・グラフや写真を活用して文章を書く良さについて考える』を知る。	◎「天気を予想する」を読んで初発の感想を書くことができる。 【読むこと】
2	・本文にかかれた三つの質問を読みとり、問いと答えの関連について考える。	◎三つの質問、それに関する答えを読みとることができる。 【読むこと】
3 4	・筆者が、数値・図・表・グラフ・写真などを用いて文章を書いたことを意図と、その効果について考える。また、筆者の考えの根拠となるものを読みとる。	◎数値・図・表・グラフ・写真などを用いて文章を書いたことの意図とその効果に気付くことができる。 【読むこと】 ◎筆者の考えの根拠を読みとることができる。 【読むこと】
5	・筆者が伝えなかったこと、論の進め方や説明の仕方、初発の感想と詳しく読んだ後の感想との違い、という3観点についてまとめ、意見をまとめる。	◎3つの観点について、自分の意見を書くことができる。 【読むこと】
6	・前時にまとめた意見を、交換しあう。	◎友達のまとめた意見を交換し合うことにより、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 【読むこと】
7	教材：グラフや表を引用して書こう ・教科書を読み、課題「くらしやすさ」「くらしにくさ」についての意見を整理する。	◎課題について自分の意見を整理することができる。 【書くこと】
8 本 時	・実際の暮らしについての写真、図、統計資料などを集め、グラフや表を読みとって自分の立場を決める。	◎自分の意見に引用できる資料を見付けることができる。 【書くこと】

9	・自分の立場に沿って文章の構成を決め、意見を文章に書く。	◎その資料を読みとり、自分の考えをまとめ、意見文を書くことができる。【書くこと】
10	書いた文章を友達と読み合い、考え方や文章の書き方、表やグラフの使い方について、意見を交流する。	◎友達が書いた意見文を読み、表や図、写真などの表現の仕方に着目し、自分の考えや感想を伝えることができる。【書くこと】

④展開

- ・本時の目標 自分の意見に引用できる資料を見つけることができる。
- ・準備 教科書、ノート、筆記用具、プリント、統計資料（本、ホームページ資料）、パソコンセット、ホワイトボード、プリンター

学習内容	時	支援および評価	
<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいを知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">◎自分の意見に利用できる資料を見つけよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・見つけ方を確認する。 ・見つけたあとの作業を理解する。 			
 <p style="text-align: center;">写真 10 5年生授業の様子</p>	7	<ul style="list-style-type: none"> ・机の上に、ジャンル分けした資料を置き、求めている資料を選べるようにする。 ・図書事務に自分が探している資料について説明し、どの資料が該当するものなのか見つけるのを手伝ってもらってもかまわないと知らせる。 ・インターネットでも資料を検索できることを知らせる。また、事前に児童のメモから必要なページを選別しておき、検索しやすくしておく。 ・資料はコピーできるようにしておく。 ・資料を見つけたあとの作業手順を板書しておく。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見に利用できる資料を探す。 ・資料から読み取れることを書き出す。 ・読み取ったことをもとに、自分の意見の論旨を固める。 	33	T1：担任 <ul style="list-style-type: none"> ・考えがまとまりやすいように、メモするプリントを用意する。 ・資料をパソコンで検索する支援をする。 ・児童がパソコン、コピー機等の情報機器を扱う際に支援する。 	T2：図書事務 <ul style="list-style-type: none"> ・机間巡視をし、児童の資料探しのアドバイスをを行う。

・次時は、意見作文用のメモプリントを仕上げることを知る。

5

◎自分の意見に引用できる資料を見つけることができる
【書くこと】

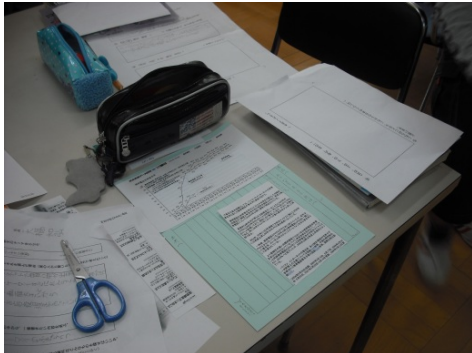


写真 11 5年生授業の様子



写真 12 5年生授業の様子

資料1 5年生授業プリント

⑤ 5年生の人は、以前と比べて、

④ ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

資料 1 5年生授業プリント

⑤ 授業研究会での協議

ア 反省点

- ・取り上げたテーマ（「くらしやすさ」と「くらしにくさ」）が難しかったので、もっと児童に身近なものにしたほうが資料の活用の仕方や論旨のまとめ方がわかりやすかった。
- ・スマートフォンの普及率やネットショッピングの利用率など、新しいデータを必要とした児童が多かったが、それらに関するデータがないものがあった。
- ・必要とする資料を探せない児童への支援がもっと必要である。

イ 今後の課題

- ・準備期間が短い

いつ、どの教科で、どのような本を活用したのか記録を残し、年間利用計画と

合わせて年間を見通した準備ができると良い。

- ・新しい資料の準備

本に載っている情報は最新のものでないことを理解した上で、「新聞資料の保存」「教師による資料作成」などの方法を取り入れると良い。また、同じ書籍で発行年が違うようなものは、その資料同士を比べるという方法もある。

- ・系統的な授業計画の必要性

情報センターとして図書館を活用するために、全学年の教科・単元の中から系統的に「資料を活用する授業」を行っていく必要がある。

- ・学校図書館職員との連携

図書館を活用する時間にだけ T.T で入るのではなく、その準備段階の時間にも学校図書館職員に協力を仰ぎ連携していく方法もある。例えば今回の授業の場合には「どんな資料をさがせばいいか」ということを考える授業計画の7時間目に司書に T.T で入ってもらい、児童に「こんな資料があるよ」とか「この資料は無いから、こちらの資料にしたほうがいいよ」というようなアドバイスをする方法もある。

7 研究の成果と課題

(1) 成果

① 学校図書館の整備

図書館の環境を整え直すことで、今までよりもより居心地の良い空間を作り出すことができ、貸出冊数も夏休み明けの総数がぐっと伸びた。また、職員全員で除架・除籍を行うことによって、各ジャンルの冊数の偏りが目に見えてわかるようになり、本校が抱える図書館の問題点の一つを職員全体で共有することができた。これにより、今後の各担当教諭による選書に変化が

現れるのではないかと期待している。

② 学校図書館の授業における計画的な利用及び学校図書館職員と教員との連携

図書館利用計画を作成し、授業や単元に必要な資料を集めてもらうことで、学習内容に広がりが見られた。6年生の「戦争に関する図書コーナー」の設置を国語の単元学習と同時期に行うことで、児童の興味関心は教科書以外の書物へと広がっていった。また、5年生の「グラフや表を生かした」授業では、日頃児童が手に取らない統計資料を十分に用意し活用することで、児童の図書館にある資料への見方が変わったのではないかと思う。借用することで十分な冊数を用意することができ、児童の学習意欲を十分に満たせる授業を行うことができた。

このような充実した授業を行うにあたり、全ての準備を担当が一人で行うには限界



写真 13 5年生授業の様子

があり、図書館の専門家である図書館職員の協力は必要であると改めて実感した。短い時間の中で円滑なやりとりを教員と図書館職員が行うためには、よりいっそう図書館利用計画を充実させる必要がある。

③ 県立図書館や他の図書館との連携

出前講座の活用や資料の借用などを通して図書館の環境整備や授業の充実を図ることができた。

「ぐんま200選」の借用により、新たに200選コーナーを設けることで児童の意識が向かい、新刊書を借りるように児童が手を伸ばし借りていく姿が見られた。本図書館に既にある本であったとしても、表紙を見せる展示をすることによって改めて目に止まり、貸し出されていった。読書の幅を広げるのに良い手だてであった。

また、授業支援の資料セットには同じ書籍が複数そろえてあり、大変使いやすかった。同じテーマの様々な種類の本を揃えることも大事だが、社会や理科、統計などに関わる資料は良いものが複数ある方が有効であることもわかった。

(2) 課題

本との出会いを通して児童の読書の幅を広げ、そして、情報を得るための場所として図書館を活用することが本年度の目標であったが、成果とともに多くの課題も残った。

まず、年間利用計画や教科等の図書館活用に関する年間指導計画が不十分であり、使いたい資料が十分に揃わないまま授業が行われてしまったりする事例もあった。来年度は本年度の実践をもとに、いつ、どの教科で、どのような図書館の活用及び図書館職員との連携ができるかを明確にし、見通しをもった授業準備ができるようにしたい。

次に、図書館は読書をする場所だという意識が教職員の中に深く根付いていることである。事前に県立図書館や他の図書館、学校図書館職員との連携を図り必要な資料を集めることで、充実した調べ学習を行うことができるという体験が教職員に少ないのではないかと思われる。数回の体験を経れば、情報センターとしての学校図書館の重要性について十分に気付いてもらえる。そのためにも、細かい年間利用計画の作成がやはり急務である。

また、資料を活用する力は、低学年の頃より様々な教科の学習と絡めながら系統だった指導が必要である。さらに、各学年の「調べ学習」や「資料を活用する」授業を系統立てて並べ、各学年の指導目標に応じた指導計画と図書館利用計画を立てていく必要がある。



写真 14 6年生教室前の様子

そして、これらの課題を達成するには学校図書館職員との連携はなくてはならないものであり、その連携方法をより工夫していく必要がある。学校図書館職員、司書教諭、担任による打合せの時間を定期的に確保することができれば、より充実した支援へと繋がっていくと考える。また、各教科の単元のどの過程で学校図書館職員によるどのような協力を得るかということについても、様々な実践を通して考えていく必要がある。

添付資料1

平成24年度

学校図書館利用計画

板倉町立東小学校

教科	学年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
国語	1	◎おはなしよんで 担任による読み聞かせ		◎くちばし 図書館で生き物や植物などの本を見つけてよむ	◎本は友だち 図書館で面白かった本、友達にすすめたい本を探す		◎みんなでもう ～みつけた～ ・昆虫や植物の本	◎よく見てかこう ・知らせたいな見せたいな	◎くらべてようもう 「自動車くらべ」 ・図鑑で車について調べる ◎昔ばなしがいっぱい ・様々な昔話を探し、読む。 ・読書計画をたてよう	◎本はともだち 「ずうとずうとたいすきだよ」 ・外国の人が書いた本を探して読もう ・本の紹介カード作り		◎どうぶつのおしゃべり ・動物のおしゃべりの本を読む		
	2	◎ふきのとう 春を楽しむ絵本		◎いなばのしろさぎ (6/2w, 2時間) 古い日本の物語 ◎スマイリー レオ・レオニのお話紹介 (6下旬) 海の生き物調べ	◎お話の国の友達 本の紹介文を書こう		◎どうぶつ園のじゅうい どうぶつ調べ	◎お手紙 (10下旬) 「がまくんかえるくん」シリーズのほかの物語の紹介	◎おもちゃの作り方 おもちゃの作り方や遊び方が書いてある本の紹介	◎図書館のひみつをさがろう ・図書館や本の分類について知る ◎わたしはおねえさん 「すみれちゃんシリーズ」		◎スーホの白い馬 むかし話やその土地に伝わるお話の紹介	◎この本読もう ・本の紹介	
	3				◎本は友だち ・読書ろくをつけよう (7/、6時間) 図書館の工夫に気づく 本の見方(題名、作者、目次)				◎食べ物のひみつを教えます 「すがたをさかえる食品」シリーズ を使つての発展学習			◎ほうこくしょを書こう ・自分の興味のあることを調べてレポートを書く		
	4	◎漢字辞典の使い方	◎調べたことを報告する 文章を書こう 「読書生活について考えよう」 ・実地調査の仕方とまとめかたを知る	◎一つの花 「平和」に関する本を読もう	◎本は友達 ・ポスターを作って紹介しよう			◎調べて発表しよう	◎読んで考えたことを話し合おう 「こんごつね」 ・キツネのでてくるほかの物語を読む ・新見南吉のほかの物語を読む ◎写真と文章で説明しよう 「仕事リーフレット」を作ろう		◎科学読み物を読もう かしらしよう ウナギのなぞを追って	◎聞いて楽しもう 額に柿の木 ・読み聞かせ ・落語や昔話	◎調べて、まとめて、読み合おう 「ことわざブック」を作ろう	
	5	◎新聞の編集の仕方 記事の書き方にめざむけよう	◎聞くことについて 考えよう ・きいて、きいて、きいてみよう	◎伝記を読んで自分の生き方について考える ・百年後のふるさとを守る						◎理由付けを明確にして説明しよう ・グラフや表を引用して書こう	◎わたしたちの「図書館改造」提案 (12/、6時間) ◎本の分類表 ◎本は友だち ◎読み聞かせ	◎詩 自分の好きな詩をみつけよう		
	6		◎町のよさを伝えるパンフレットを作ろう ようこそ、わたしたちの町へ	◎聞いて楽しもう 河鹿の風 読み聞かせ					◎作品の世界を深く味わおう やまなし <資料>イーハトーヴの夢 ・宮沢賢治のほかの作品を読もう	◎自分の考えを明確に伝えよう 「平和」について考える <資料>平和のとりでを築く ◎本は友達・わたしと本 ・今までの読書生活を振り返り、おススメの本について文章やポップを書く				
図書館リテラシー	低学年	初エディション 使い方・借り方・返却方法・カードについて	ラベル (分類)	本の並び方 (配架)	図鑑や事典を知り、写真や文章を読む ブックウォークのやりかたを知る			抜き書きの仕方 (引用)				・紹介カードを書こう		
	中学年	・国語辞典の使い方 ・漢字辞典の使い方	・実地調査(アンケート、インタビュー)の仕方とまとめ方 ・ラベルと配置 (分類と配架)	・図書づくりと各部の名称を知る	・ポスターで本を紹介しよう。 ・公共図書館でのルール			・著作権 ・抜き書きの仕方 (引用) ・切り抜き・ファイリング	・写真や資料に意見を添え、まとめる方法を知る (リーフレット)		・情報モラル ・個人情報	・意見のまとめ方	・資料リストの作成	
	高学年	オリエンテーション 分類・配架について	・活用資料の記録の仕方を知る ・写真や資料に意見を添え、まとめる方法を知る (パンフレット)	・依頼文や例文の書き方、電話のかけかた、ファクシミリの使い方などを知る	・著作権 ・抜き書きや切り抜き資料を活用するときのルール(情報モラル)について知る			・レファレンスサービス ・ファイル資料作成	・統計や年鑑の特徴や使い方を調べる		・コンピューターを使ったまとめかた		・資料リストの作成 ・まとめの発表の仕方の工夫	
社会	3									◎昔の道具調べ				
	4		ごみのゆくえ	水のゆくえ(上水)			・安全な暮らし 火事を防ぐ	事故や事件をふせく	郷土をひらく		・私たちの群馬県 板倉町と群馬県	県の人々の暮らし 豊かな自然を守る	伝統をうけつぐ	日本の中の群馬県 他の地域や外国とのつながり
	5		・日本のお米づくりは どうなっているの?	・日本の水産業は どうなっているの?							・日本の国土のようす	・人々の暮らし 高地のくらし 低地のくらし 雪国のくらし あたたかい島のくらし	・災害からくらし はどのように守られているの?	・環境はどのように まもられているの? 公害(水俣病など)
	6	・大昔のくらし 古墳、埴輪、生活	・国の政治のしくみ 平安時代奈良時代の文化	・武士による政治 鎌倉時代	◎戦国の世 戦国時代の武将カード作り 資料集め		・徳川の世 江戸時代		◎戦争は、人びとのくらしをどう変えたの? 第二次世界大戦、原爆、人々の生活		日本国憲法には、 どんな特色があるの?	◎世界には、どんな人 びとのくらしが見られるの?	平和を守るために 国際連合などの活動について	
理科	3	◎生き物をさがそう ◎植物を育てよう (種)	◎チョウを育てよう		◎植物を育てよう(種)			◎虫を調べよう					◎おもちゃをつくらう	
	4	春と生き物			◎夏と生き物 ◎夏の星			◎月と星	◎秋と生き物		◎冬と生き物	◎冬の星		
	5		◎メダカの誕生		◎台風接近			◎花から実へ ◎天気の変化	◎流れる水のはたらき			◎人の誕生		
	6		人の体のつくりとはたらき					◎土地のつくりと変化			◎月と太陽	◎電気の利用	◎生き物と環境	
図工	1								・生活画 「虫の図鑑」					
	2													
	3								・物語を読んで絵を描こう					
	4													
	5								・物語を読んで絵をかこう					
	6													
生活	1							◎虫となかよくなるう 虫の飼ひ方調べなど						
	2		◎やさいを育てよう そだてる野菜について調べる								◎うごくおもちゃをつくらう ★ペットボトルを使ったおもちゃの本があるといい			
総合	3			◎福祉(点字、車椅子)				福祉(盲導犬)						
	4		遊水地の自然と歴史(1)					遊水地の自然と歴史(2)						
	5		水と沼と私たちの地域 板倉町の自然'97・板倉の民話				そばを育てよう	水と沼と私たちの地域 板倉町の自然'97・板倉の民話						
	6		地域再発見 板倉町の文化財、大杉囃子(ビデオ)など					◎鎌倉について調べよう(修学旅行)			◎職業調べ			
道徳								◎すれちがい(5年)、2-(4)謙 虚寛容「相田みつを」の詩を活用						
特別支援												◎「学習発表会」 (2月下旬) ★「ベ-」の作り 方、劇の台本の作り 方などの本が参考に になる		
ポラ		よみきかせ ←										4年・落語や昔話	アンケート	
委員会		組織作り		おすすめ本紹介	ブックウォーク			読書週間 よみんご	→ 図書委員発表			POP大賞 →	多読賞発表	

No.	出版社	書名	巻数	価格
1	PHP研究所	経済がよくわかるコンビニ図鑑	1	2940
2	"	けいたい電話がよくわかる絵事典	1	2940
3	"	電気の大研究	1	2940
4	"	1970年代の日本と今の日本	1	2940
5	"	太陽エネルギーの大研究	1	2940
6	"	再生可能エネルギーの大研究	1	2940
7	"	資源の大研究	1	2940
8	"	光の大研究	1	2940
9	学研	けいたい電話のひみつ	1	非売品
10	"	インターネットのひみつ	1	非売品
11	綜合法令出版	子どものための「ケータイ」ルールブック	1	1365
12	朝日新聞出版	朝日ジュニア学習年鑑2012	1	2415
13	小学館	こども大百科 大図鑑	1	4830
14	"	キッズペディア こども大百科大図鑑	1	3780
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
31				
32				
33				
34				
35				